



2018～2019年度
国際ロータリー会長



Tagajo Rotary Club

RI club No. 13674
Since 1972.03.25

バリー・ラッシン
Barry Rassin
(パナマ・East Nassau RC)

会長 宮城 順 幹事 引地 辰男

雑誌会報委員会

第2520地区ガバナー
田中 堯史
(盛岡RC)

◇ 事務所/宮城県多賀城市八幡四丁目2-12 イトビル2F ◇ 例会日/木曜日 12:30～
TEL.022-366-4499 FAX.022-366-4548 ◇ 例会場/ホテル キャッスル プラザ 多賀城
◇ URL;/http://www.tagajo-rc.com Email;/info2@tagajo-rc.com

◇ 例会場/ホテル キャッスル プラザ 多賀城
宮城県多賀城市桜木一丁目1-60
TEL.022-367-1111

2018年11月1日(木) 第2246回 今年度第17回例会

会場監督 横田 芳博
開会点鐘 12時30分
国歌斉唱
ロータリーソング 奉仕の理想 四つのテスト
ゲスト・スピーカー

協同組合アテイン海外事業部 前田 真司 様

今月のお祝い

○結婚記念日

5日 小野 薫 会員 24日 藤田 範生 会員
25日 大場 光夫 会員

○お誕生日

9日 嶋原 啓文 会員 11日 林 智 会員
15日 伊東 清一 会員

会長挨拶 宮城 順 会長



去る10月28日に第35回ロータリー旗争奪少年野球大会が無事終了しました。今年は当初予定した9月は台風の影響で開催できませんでした。正直言ってこれでホッとしたという処です。

さて、少年野球大会の運営について会員の皆様にご報告が有ります。今年までは多賀城 RC の単独事業として関係各位のご協力を頂きながら開催してまいりましたが、来年の大会からは大きくその運営方法が変わる事に成ります。何度か理事会で審議頂きながら多賀城 RC としての方針をまとめた文書を大会終了後の反省会で野球部連絡協議会の会長さんにお渡しさせて頂きました。文書の内容は次の通りです。

現在の少年野球大会をロータリーの単独開催から

「JXTG」さんとの共催に衣替えし、大会の開催に関する、今迄の大会名称を含めて全面的な変更も視野に入れて取り組む事にします。具体的な移管内容としては少年野球大会の開催・名称・規模・予算・宣伝広告についての決定権を多賀城 RC から「JXTG」さんに移管するというものです。

それではもう RC 会員が出席しなくても良いのかと思われる会員も居らっしゃると思いますが、クラブとしての関わりは例年と同じく、大会の当日会場にてロータリーメンバーが参加して少年野球チームの熱戦を観戦、応援する事に代わりは有りません。しかし来年は随分違った雰囲気の大大会に成ると予想していますので、ある意味お楽しみにして下さい。この件については今後高井委員長にもお手間をお掛けしますがこれから細部を煮詰める必要が有ります。今回この判断に至った意図としては少年野球大会に注いできたロータリーのマンパワーと予算を新たに來るべき50周年に向けて新事業の創出と育成に向ける事が目的です。当クラブとして大きな変換点の50周年を節目に我々の限られた視力とマンパワーを新たな50年に相応しい事業に向ける必要が有ると考えております。その具体的な事業のプランはこれからエレクトの阿部さんとも十分にご相談を重ね、創立50周年準備委員会の方々にもご協力頂いて形にしていける事に成りますので逐次ご報告させて頂きます。

最後に、これまで諸先輩たちが続けてこられたロータリーの奉仕の精神具現化に勝るとも劣らない素晴らしい奉仕事業について色々とアイデアや情報をお寄せいただければ幸いです。



◇ガバナー事務所より

- ・鈴木 賢 ガバナーエレクト(国際協議会)
- ・桑原 茂 パストガバナー(2019年規定審議会)
- ・菅原 裕典 パストガバナー(地域リーダー研修セミナー)ご出席壮行会のご案内

日時: 2018年12月9日(日)

場所: ホテルメトロポリタン仙台4階「千代の間」

会費: お一人12,000円

- ・米山記念奨学会委員会研修会資料を頂きました。

□学校法人 仙台育英学園より

- ・仙台育英学園高等学校 インターアクトクラブ創立55周年記念誌をいただきました。

委員会報告

○親睦委員会 大場 裕之 委員長
 会長より家族会でポリオについて話をするということもあり、先月ポリオデーということでしたので、一人2,000円以上の寄付をいただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

○国際奉仕委員会 大久保 美津子 委員長
 やっと国際奉仕委員会が動き出します。国際交流祭りのご案内です。

日時: 11月23日(金)13:00~15:00

場所: 多賀城市文化センター展示室

会費: 無料 服装: 自由

子供さんたちが異文化に触れながら楽しめる内容となっています。クラブからたんまりとお菓子を配りますので、お子さまを連れて来ていただければと思います。メイキャップ扱いにもなっております。国際奉仕委員会として初めての企画ですので出席率が悪いと私のメンツが立ちません。ぜひご参加よろしくお願ひします。

○R財団委員会 横田 芳博 副委員長

11月は財団月間となっております。物入りの時期心苦しいですが、100ドルを目標に事務局に納入していただければと、よろしくお願ひします。例会の時でもかまいません。

12月クラブ総会を控えて阿部新康会長エレクトの後の会長(ノミニ)を選考するための指名会議を鈴木誠さん、大友さん、穀田さん、佐藤仁一郎さん、私を加えて選考させていただきます。宮城会長も入って11月20日18時くらいからを予定しています。

卓 話

「海外研修生について」

担当: 鈴木 誠 会員



今日は東京から協同組合アテインさんをお呼びしています。何をしているのかというと海外の研修生を派遣している会社です。これから高齢者が多くなって外国人の力を借りないと日本経済も支えていけないと状況です。どんなものかなと思ってインドネシアから二人会社に入っている訳ですけれども、その時にお世話になった会社です。私の会社はインドネシアで小向さんの会社は中国。その国々によって違うんでしょうけれども、私の夢は多賀城にインドネシア村を作りたいということで来ていただきました。皆さんの参考になれば良いかと思ひます。

協同組合アテイン海外事業部 前田 真司 様



今ご紹介いただきました協同組合アテインの前田と申します。海外の技能実習生の受け入れをしている組合です。昨今国会では、外国人労働者の受け入れという話が盛んにされているようです。具体的には決まっていますが、来年の四月から随分大きな改革があるのではないかと我々も思っております。それによって初めて一般の労働者として外国人が来られるのかなど。

今、日本は外国人をいわゆる労働者として入れていない。そういうビザが無いんです。日本で働けるなら日系とか日本人の配偶者とか、留学生で勉強しに来ていたとしても限られた時間アルバイトとして働けますよとか。あるいは、研究者。そういった労働は認められて

いるけれども、いわゆる労働のために来ることは出来ない。そういった中で私どもが担当している技能実習生ですが、25年前に制度が出来まして、日本で技術を身につけて自分の国に帰って活かして下さいという途上国を支援する意味で始められた制度です。昨今人手不足の業界が多くありますので、そういったところでは人手として充分助かっているのが実情です。

お手元に配った書類ですが、日本に外国から来られる3年間を基本としています。最初の1年目、会社さんで働いて1年目が終わるちょっと前に、技能検定試験があり、実技と学科に受からないと2年目ビザがもらえないんですね。どちらかが落ちてしまうと一年で帰国せざるをえない制度です。その試験に受かりますと2年目も3年目も日本にいられます。それから去年の12月に制度が改正されまして、日本に来て3年目になりましたら、もう1ランク上の技能試験を受けて下さい。それに受ければ、いったん帰国してからまた2年来られ、合計5年間日本で実習できますよと変わったところですよ。

ちなみに鈴木社長のところの実習生は年明け1年目に検定試験を受験します。学科試験はひらがなとローマ字で書いてあり、内容は簡単なんです。○×式で「作業をするときはマスクをしなければいけない。○か×か」。言っていることは簡単なんですが、彼らにしてみれば、その日本語が難しい。それから建設関係で作業中はヘルメットをかぶらなければならぬと書いてくれば良いものを、保護帽を着用しなければならぬと書かれちゃうともうわからない。そういう感じで点数を落としてしまうこともあるんです。ちなみに私は仙台市内で溶接協会に行きまして、岩手県の企業ですが、溶接の試験に立ち会います。これは3年目の子で、それに受ければ後2年来られる可能性があるという試験が明日行われます。

受け入れる職種というのは決まっております。どんな仕事でも良いというわけではございません。77職種139作業。この中の職種に該当するものでないと受け入れが出来ないです。技能実習生としてコンビニで働いている人はおりません。居酒屋でアルバイトしているのは技能実習生ではございません。ここに書かれている職種は技能検定試験とか技能評価試験があります。こういった職種をメインにされている企業様であれば実習生も受け入れられます。

受け入れ人数の多い国、当初は圧倒的に中国人でした。25年前に制度が出来て、中国人のために制度を作ったと私は聞いているくらいです。中国はもう技術的にも経済的にも発展してしまっていて、中国人の研修生は減少傾向です。そこで変わって増えてきたのがベトナム人です。今日本に技能実習生が5万人くらいいますが45%くらいベトナム人です。中国人が2番目、フィリピン人、インドネシア人と続いております。アテインでは400人弱受け入れているんですが、ベトナム人が45%、フィリピン人が2番目、中国人とインドネシア人

が3番目となっています。大手の企業さんで独自で受け入れることも出来ますがけど、ほぼ私どものような組合を通して手続きをされています。それが団体管理型という仕組みになっています。実際どういう手順で受け入れるかという、実習生を受け入れてみたいという企業がありまして、私ども伺いまして、職種を決め、どの国から入れるか決めていただきます。そして現地で我々と協力している送り出し機関があるんですが、そこに連絡して、こういう職種で何人希望しています、そういう経験がある人を探して下さいと伝えます。そうすると一ヶ月くらいで希望の3倍くらいの人数を揃えてくれます。そして会社の人と一緒に現地に赴いて面接をします。簡単な筆記試験や計算もしたりします。受け入れる人数も会社さんの従業員の数によって、50人以下ですと一度に3人まで受け入れられます。3人の子が2年目に入ると枠が空くのでまた3人入れられます。また一年経つと枠が空くので3人来られます。そうしますと3年目には9人体制になるということです。これが100人規模ですと一度に6人来られるとか、受け入れる会社さんの規模によって受け入れ人数が変わってきます。

アテインではベトナム、フィリピン、中国、タイ、モンゴル、インドネシア、色々な国から入れられます。その中で私はインドネシアをおすすめしています。現地の送り出し機関がどういう教育をしてくれているかによっても日本に来てからの実習生の評価が変わってくるんですね。インドネシアで送り出し機関をしているのはLPK。インドネシアはイスラム教の国ですが、いわゆるテロリストとかとは宗派が違いますので、温和なイスラムの国です。面接の時に私が必ず言っているのは、イスラム教徒は一日5回お祈りをします。年に一度一ヶ月、断食期間があります。それは日本では無理だよと先に伝えてあります。例えば昼間に現場でお祈りする時間も場所もない、日本に行ったら日本のやり方だよということは伝えてあります。断食だって毎年時期はズレますけど、今年のような猛暑の時に水も飲まないで作業されたらそれは大変なことになります。そういう国だけれどそれでも良いなら来てくれと伝えます。その上で試験を受けて、希望があれば簡単な実技のテストもその時にしてみます。日本で受け入れる職種と同じ経験のある子が来るんですが、正直、即戦力という子はなかなかいません。だからこそ日本に来てから基礎を教え込むんですけれども、例えば鉄筋施工ですが、日本の場合は鉄筋と鉄筋を針金でハッカーというのでシュシュシュと縛るんですけれども、インドネシアではペンチでゆっくりギュッギュッと腱鞘炎になりそうなくらい、手首が疲れるくらいゆっくりなんです。その道具から違っています。大工さんの鉋(かんな)。日本のように引くんじゃなくて押して削る鉋なんです。そういうふうに使いが違うところもあります。そして、肝心の日本語授業、会話訓練となっていますが、現地で面接の後約3ヶ月日本語を特訓してから来るんです。インドネシアでは面接をする時点で、日本に興味がある、行きたい

と言って自分で日本語を勉強してる子も呼びます。日本語学校に行って日本に実習生として行きたい子いないかといって、面接の時点で日本語で自己紹介が出来ます。その子たちがさらに3ヶ月間勉強して、日本に来た時点では社長宛に漢字交じりの手紙まで書いてます。最初の一週間は我々の施設でもう一度勉強しますが、その時にインドネシア人、ベトナム人、フィリピン人いますと、インドネシアの方がレベルが高いです。会話が通じる状態です。また、現地では体力作り訓練ですとか自炊訓練ですとかをさせます。日本に来たら3食全部自炊です。企業様には住まい、アパート、生活備品を用意していただくんですが、基本的に3食自炊で共同生活していますので、日本の食材で自分の食事を作り、お昼のお弁当を作って持っています。家庭訪問調査もします。現地で身元がしっかりした子、ご両親、親戚の同意を得ているか、そういったことも確認した上でお連れしています。

日本で働いている評判、評価は非常に高いです。最初は言葉がなかなか通じないとおっしゃるんですが、仕事を覚えると日本の若い子たちと比べれば差があり、受け入れて良かったと評価を多く受けています。正直なところ、悪い評判、評価もあります。ニュースになるのは実習制度の悪いことしか出ませんし、実際に途中でいなくなった子はいます。おそらく10年くらい前は環境が悪くて、こんなところで働いてられねえと逃げちゃう子はいたと思いますが、最近はそういったことは改善しています。逆に我々が困っているのは、外国人を引っ張り込む悪い組織があるはずで、今ならインターネットで「うちの会社来ないか、もっと高いお金出すよ。」みたいな情報発信をして引く抜いていく。そういったところは警察もなかなか把握できないんですが実際あります。同じ部屋で暮らす実習生にも内緒で夜中のうちに誰かが迎えに来て逃げちゃったという事があります。いなくなった場合には何の保証も出来ませんし、警察に届け出て入国管理局にも報告はしますし、その後見つかったという時もあるれば、そういう情報も無いときもあります。1%未満ですがいなくなる子もいます。中には途中で病気になる子もいます。風邪ひく位なら自分で病院に行けますが、重い病気でしたら、いったん家族の元に戻って直してきなさいという指導はしています。その時の通訳とか、仕事上の指導、日本での生活のゴミの分別とかも我々の方で通訳でやっていますので、表だって大きなトラブルは無いかなという気がしています。今回特にインドネシアをおすすめしているのは大きな理由がありまして、今宮城県内に7社、岩手県内に6社あるんですが、私が巡回した中で各企業の担当の方から不思議なことに全員から言われたんですが、「インドネシア人って東北の人と似てないかい」と言われたんです。埼玉の企業さんに聞いたら実はそうなんだと、「俺は元々秋田の出身だけれども、インドネシア人がなんかしっくりくるからずっとインドネシアなんだ」とおっしゃったんです。そんなものかと思ってい

たところ、去年8月に帰国した子を最後成田空港に送っていく車の中で実習生から言われたんです。「前田さん、岩手の方の人ってインドネシア人と似てますね。」それがどういう部分の何かはわからないんですが、何かがあるんですよ。だからこそインドネシアをおすすめしています。皆さまの企業でも実習生にご興味がありましたら是非ご一報いただいて、受け入れていただけたらと思っております。

出席率報告

出席委員会

・卓話させていただきありがとうございます。

鈴木誠会員

・卓話ありがとうございます。

佐山、田口、阿部(祝)、岩井、佐藤(仁)、横田
宮城、引地、芦澤、大熊、西條、佐藤(由)各会員
本日の合計 19,000円

スマイルボックス

S・BOX委員会

本日第2246例会出席率 19/35(-1)名 55.89%
前々回第2244回例会修正出席率 76.47%

○メイクアップ

10/27(土) 利府 RC30 周年記念式典

宮城 順会長、阿部会長エレクト、他会員 13名

10/28(日) 多賀城RC旗争奪少年野球大会

宮城 順会長、高井委員長、佐藤(由)副委員長
他会員 12名

次回卓話

○テーマ:「会員スピーチ」 担当:安住 政之 会員

閉会点鐘

13時30分

文責:雑誌会報委員会 小島 邦道